

第1章

はじめに

四日市のまちなかは 変貌の過渡期にあります

- 2027年のリニア中央新幹線の東京-名古屋間開通によって、四日市市は東海地区の西の中核都市として、更なる飛躍が期待されています。これを契機に、**居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの形成**によって都市の発展を図るため、中央通り再編やバスタ整備など、四日市市のまちなかは今大きく変わろうとしています。
- 課題も多くあります。古くからにぎわいの中心だった商店街では、居酒屋が多く並び、昼間の人通りが少なくなっています。近年マンション建設も多く進み、まちなかの人口は増えたものの、まちなかの活性化には結実していません。一方で、中央通り沿道を中心とした再開発で今後ビジネス、観光の需要も増えるかもしれません。
このように、**大きく変化する四日市のまちなかにおいては、まちのあり方そのものが問われています。**

多様な主体が活躍する 舞台を整えます

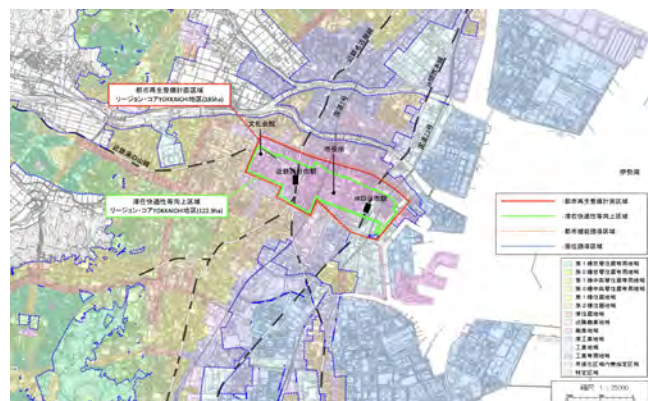
- そこで、まちなかの魅力を高めながら、変化に合わせたまちづくりを加速するため、**様々な主体がまちなかの未来を考え、実践できる「四日市エリアプラットフォーム」**を設立し、**これからのまちなかのあり方を示した「四日市まちなか未来ビジョン」**を策定します。



出典:「ニワミチよっかいち」中央通り基本計画(四日市市・日建設計)

歩いて巡れる まちなかの未来を描きます

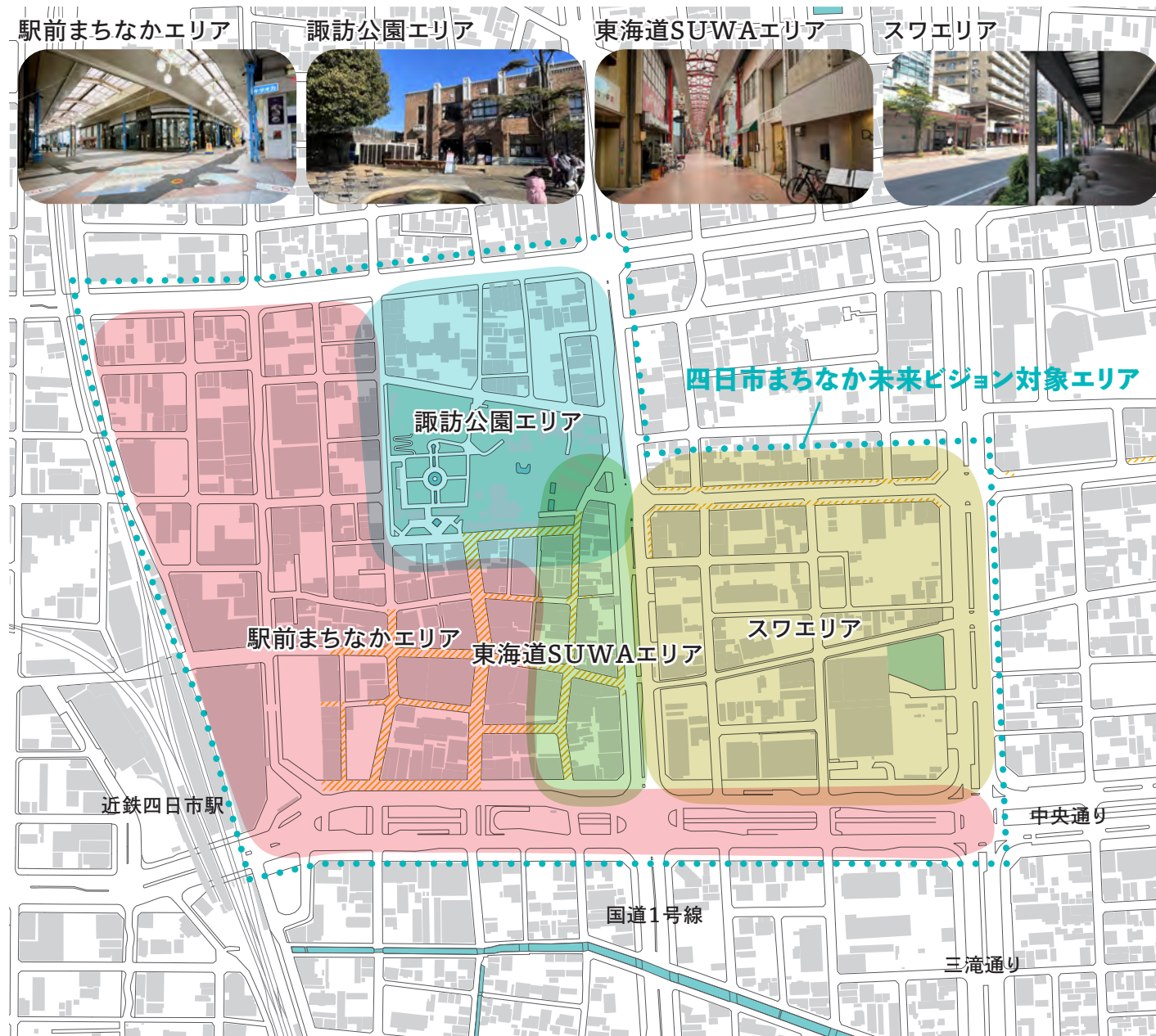
- リージョンコアYOKKAICHI地区(都市再生整備計画区域)における、**近鉄四日市駅東側の徒歩・自転車圏の範囲を「四日市まちなか」**として、四日市まちなかエリアビジョンの対象エリアに指定します。



出典：都市再生整備計画 リージョンコアYOKKAICHI地区(四日市市)

- 対象エリアを地域特性等から4つのエリアに分け、それぞれ未来のエリアイメージおよびエリアコンセプトを策定します。

四日市まちなか	駅前まちなかエリア	未来のエリアイメージ エリアコンセプト
	諏訪公園エリア	未来のエリアイメージ エリアコンセプト
	東海道SUWAエリア	未来のエリアイメージ エリアコンセプト
	スワエリア	未来のエリアイメージ エリアコンセプト



まちの姿が大きく変わろうとしている今が絶好の機会 まちの使い方もアップデートする、公民連携のまちづくりの方針を示します

- 四日市まちなか未来ビジョンは、様々な人材が関わる四日市エリアプラットフォームが策定する将来構想です。なかには、実現が困難な取組や、十分に調整協議ができていないものもあるかもしれません。それでも、「四日市のまちなかがこう変わったらいいな」、「こんなことをしてみたいな」とまちなかへの強い想いを抱いた方々が協議と実践を重ねて作り上げました。
- 現在、四日市市では、中央通り再編や周辺公園の再整備など、まちなかのウォークアブル化を進める整備事業を進めています。行政計画と連携しながら、小さなアクションを実践し、トライ&エラーを重ねながら、まちなかの居心地を高める、四日市まちなか未来ビジョンの実現を目指します。

